

<参考資料>

福島第一原子力発電所 固体廃棄物貯蔵庫関連施設修理工事  
『基礎杭補修作業中の作業員死亡災害』について

平成26年3月31日

東京電力株式会社



東京電力

---

# 1. 工事概要

## ■工事概要

- ・ 工事件名：固体廃棄物貯蔵庫関連施設修理工事
- ・ 工事期間：平成25年11月6日～平成26年5月30日
- ・ 請負会社：東双不動産管理株式会社
- ・ 工事目的：ドラム缶の移送先となる建屋が、東北地方太平洋沖地震により損傷しているため、建屋の復旧工事を行う。

## ■作業内容

災害の発生した空コンテナ倉庫は、震災により基礎杭にひび割れ等の損傷が見られ、補修作業に伴い基礎杭を露出させるため、掘削作業をおこなっていた。

## ■工事エリア

空コンテナ倉庫他



当該杭の状況

## 2. 工事実施経緯

---

- 東北地方太平洋沖地震に伴う原子力事故を受けて、福島第一原子力発電所構内には放射性を帯びた瓦礫などが存在している。  
それら瓦礫などからの放射性物質の敷地外への飛散防止と敷地境界線量低減を目的に、福島第一構内に保管する建物が必要。  
これを受け、福島第一構内に保管場所を確保するため災害発生当該建屋を早急に補修することを計画していたものである。

### 3. 災害発生概要と時系列

#### ■災害概要

- ・災害発生日時：平成26年3月28日（金）14:20
- ・被災者：男性（55歳）死亡
- ・所属会社：東双不動産管理株式会社（元請会社）の二次協力会社

#### ■発生状況

固体廃棄物貯蔵庫関連施設内の空コンテナ倉庫において、東北地方太平洋沖地震で破損した基礎杭の補修に伴い、事前準備作業として杭の損傷状況確認のため、地盤の掘削（災害発生場所では地盤面より約1.7m）を実施していた。

基礎下部の掘削時に発見された均しコンクリートのはつり作業を行っていた際に、均しコンクリートと土砂が崩落し、当該作業員が下敷きになり被災した。

#### ■時系列

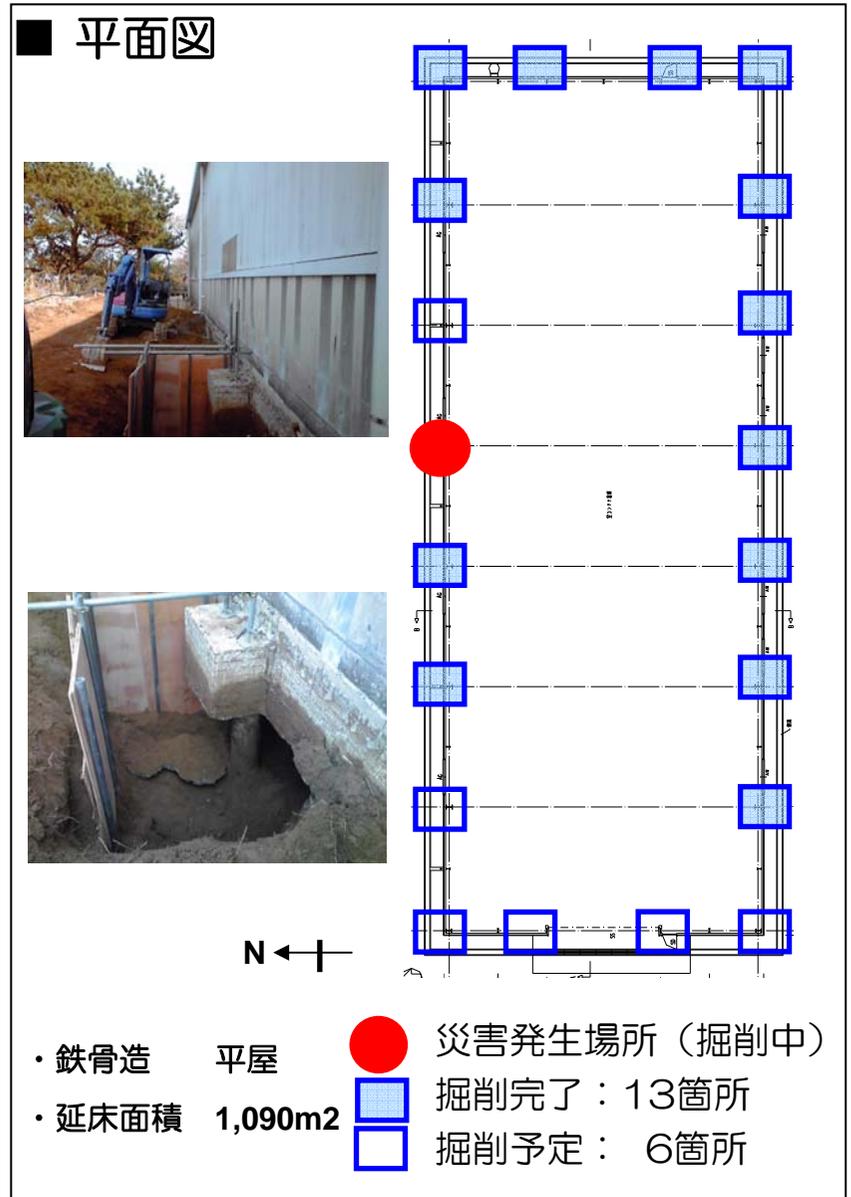
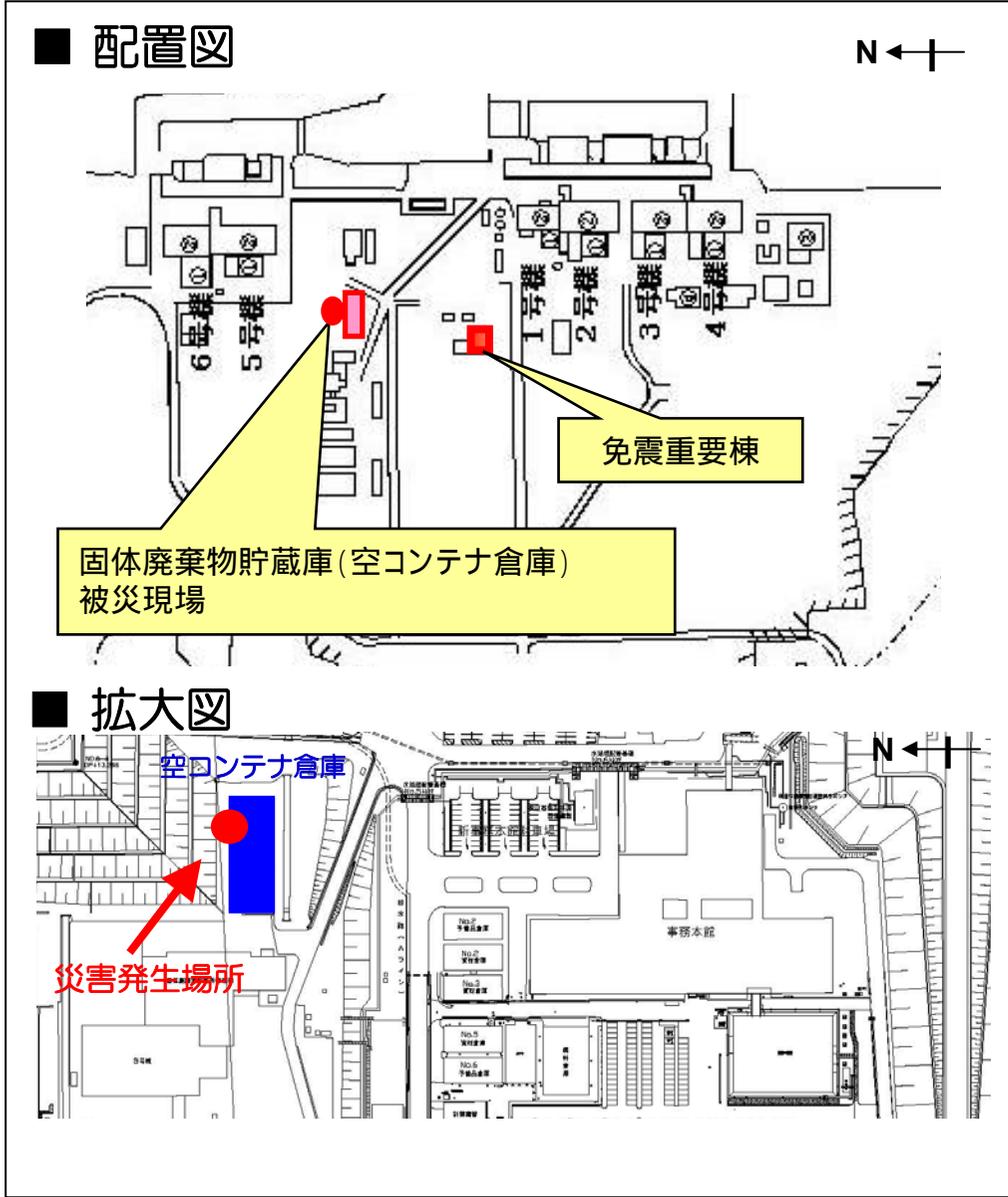
【3/28】

- |       |                                       |
|-------|---------------------------------------|
| 7:45  | 作業前ミーティング                             |
| 10:00 | 作業開始                                  |
| 12:55 | 昼休憩後、作業再開                             |
| 14:20 | 災害発生（以降、被災者の救出・救急医療室（ER）への搬送・サーベイを実施） |
| 14:31 | 福島第一対策本部へ連絡                           |
| 14:45 | 双葉警察署へ連絡                              |
| 14:57 | 福島第一 入退域管理施設 救急医療室（ER）入室              |
| 15:02 | 救急車要請                                 |
| 15:15 | 救急車が福島第一 入退域管理施設 到着                   |
| 15:26 | 救急車にて、いわき市立総合磐城共立病院へ出発                |
| 17:22 | いわき市立総合磐城共立病院の医師による死亡確認               |

※均しコンクリート：

上部に構造物を設置するため、地表面の凸凹を平らにすることに使われるコンクリートのこと

# 4. 被災現場図



## 5. 原因（推定）

○東北地方太平洋沖地震により沈下した土砂と共に、剥落していた均しコンクリートが掘削範囲内に存在していた。

そのため、均しコンクリートを携帯型小型破碎機で小割解体しながら掘削作業を行っていたところ、均しコンクリートが、上部の土砂と共に被災者に崩落した。

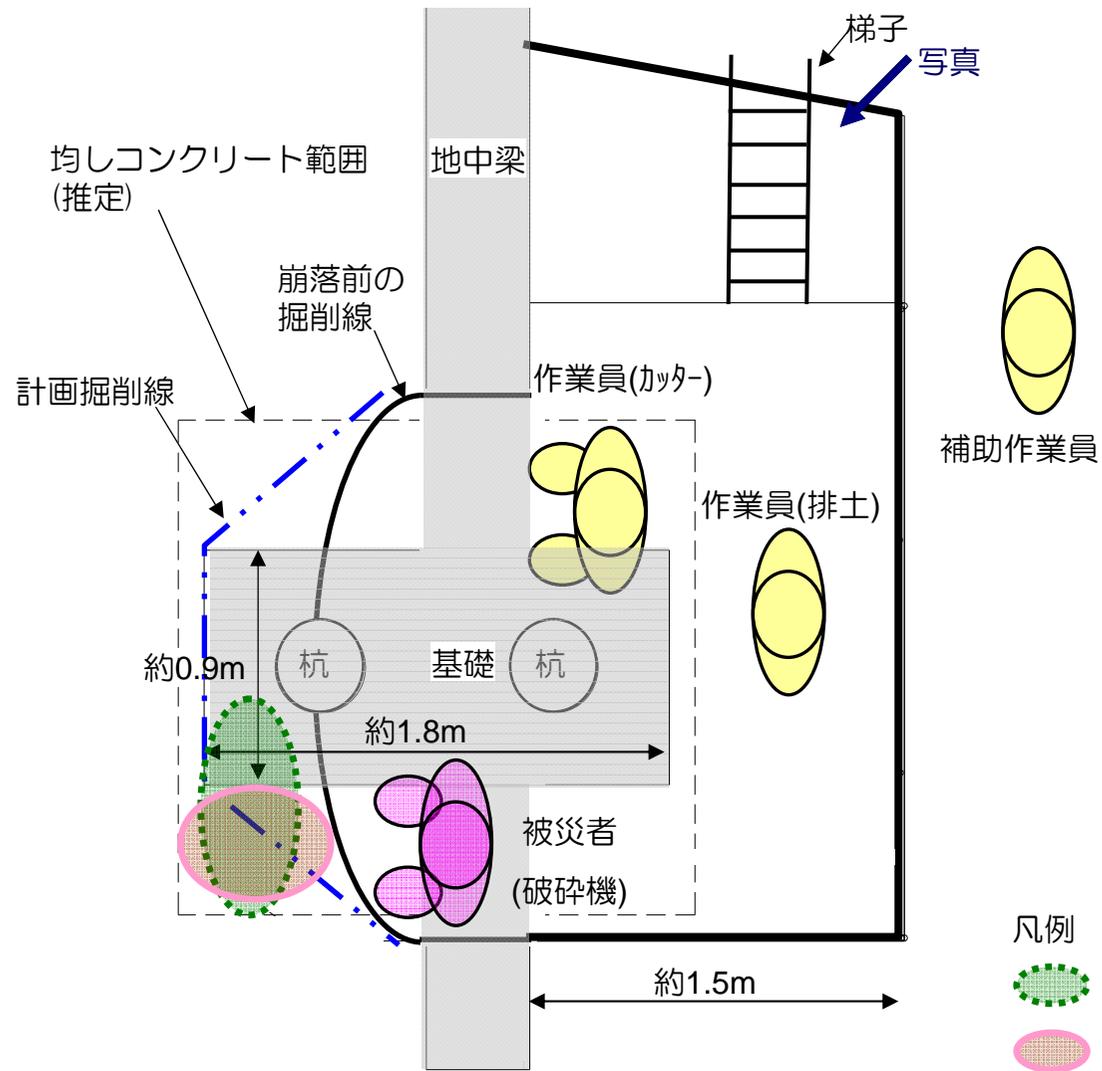


崩落前の状況



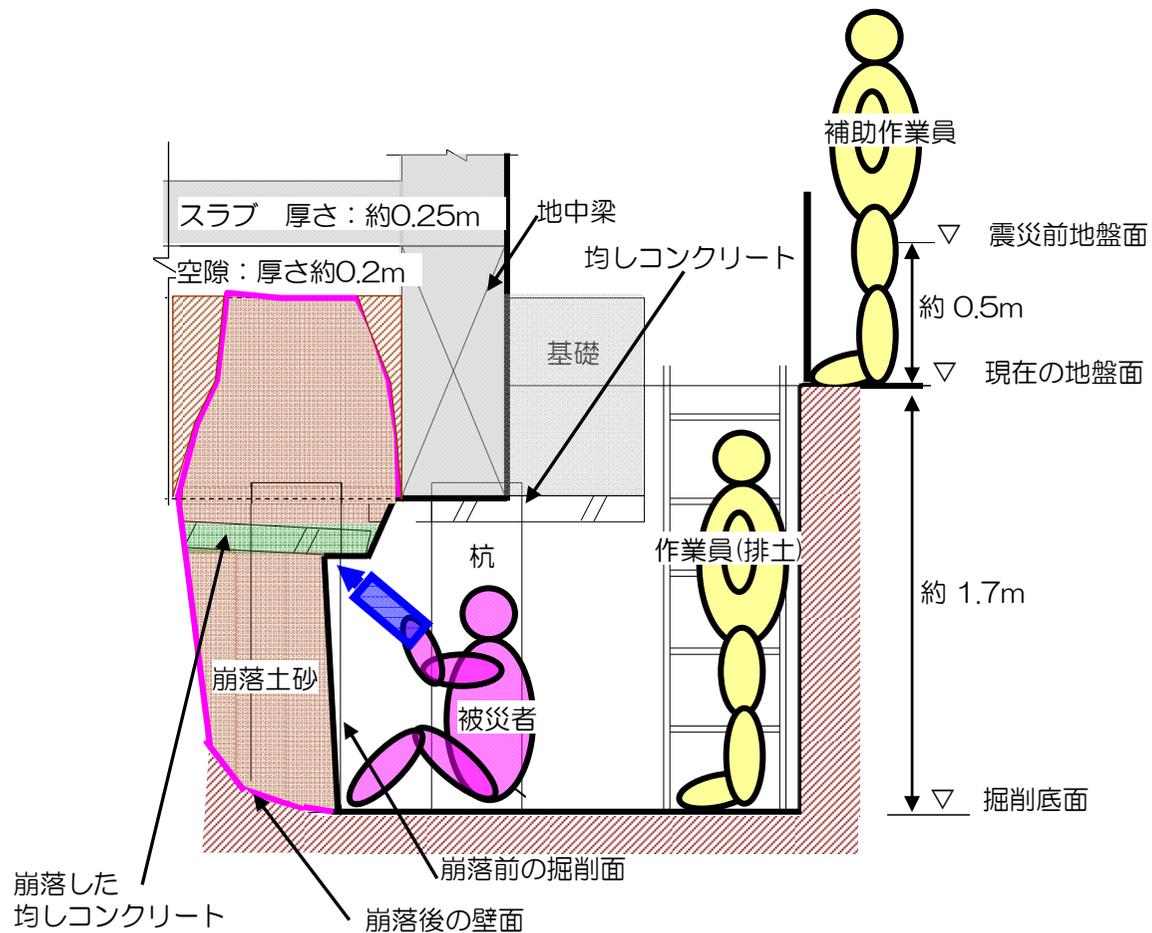
崩落後の状況

## 6. 災害発生状況（推定）平面図



(写真) 当日作業開始時

# 7. 災害発生状況（推定）断面図



土砂と共に崩落した均しコンクリート